

1. 2020 年度を振り返って

2020 年度は、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス(COVI-19)感染症の影響が大きく、どの業界においても想定していた事業も変化をせざるを得ない1年となりました。その渦中でもポケットサポートは 2025 年ビジョンの 3 つのミッションの下、「ピンチ」を私たちにできる「チャンス」に変え、事業を進めてきました。

Mission

(ポケットサポートが社会で果たすべき使命)

- ①環境をつくる
- ②生きる力を育む
- ③人や気持ちを繋ぐ

1 つ目のミッション「環境をつくる」では、今年度は学習支援や復学支援、自立支援をすべてリモート(オンライン)化によって実施をしました。岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業では小児科の医師からの相談で、Yahoo!基金や J-Coin 基金の助成を得てオンラインで使用するための機材を購入し、病院に入院している子どもたちへのオンライン支援の整備を進めました。国立岡山医療センターでは7月より、岡山済生会総合病院では9月からオンラインによる支援を開始することができました。その中で、それぞれの医療機関へ iPad 配布、アプリ等の使用により医療スタッフとのやりとりも以前よりスムーズな連絡調整が行えるようになるという利点も生まれました。支援拠点でも対面での学習支援や交流支援は休止となる中、YouTube ライブ配信による学習講座や交流イベントを実施することで、ステイホーム中や入院中の病気を抱える子どもたちやご家族と、岡山県内だけでなく、全国の方々もつながることができました。

そして今年度も、コロナ禍で大変な中でも受験勉強を進めてきた受験生が無事進学を果たすことができました。無事、合格をした際、保護者の方から「学校へ全く行けなかったときから、ずっと母子ともにたくさん支えてくださりありがとうございました。スタッフの皆様大変お世話になりました。進学することが決まって、みんなと同じスタートができること、本当にありがたいです。」とメッセージをいただきました。今後も、子どもたちや家族と継続的に成長を見守ることができる NPO 法人の役割を果たしていければとスタッフ一同、心から思う出来事となりました。

2 つ目のミッション「生きる力を育む」では、年度のはじめに起こった全国の緊急事態宣言下に、療養中の子どもたちやステイホームを余儀なくされた病気を抱える子どもたち、きょうだいと、いち早くオンラインで繋ぎ日々励ましあいながら過ごすことができました。

日々オンラインで繋ぐ中、支援のコンテンツが煮詰まりそうになってきたときに子どもから発せられた「こうやってつないで話すだけでも安心するよな〜」という言葉。つながっていることの大切さや、「ひとりじゃない」とみんなが思える空間が作れていたことを再認識しました。毎年実施しているクリスマス会も、今年は zoom による開催で感染症対策をしながら子どもたちやご家族と笑顔あふれる時間が持てたことも、大切な思い出となりました。

今年度、岡山市市民活動支援金により開設した慢性疾病を抱える子どもたちが安心して復学できるように応援する「ポケサボ相談ダイヤル」へも岡山県内の各地から相談のお電話をいただきました。コンビニへ買い物に行くことも不安を覚える日々や、学校を自主休校している子どものお話、病院に入院している中で家族とも 15 分しか面会ができないなど、コロナ禍によって病気を抱える子どもたちの置かれている環境はとても厳しいということが浮き彫りにもなってきました。相談ダイヤルに寄せられた電話の中でも、お話を

することで最初は神妙な面持ちで話されていた保護者の方が、最後には安堵されたように電話を切っていただけたときに、相談先のあることの大切さも痛感しました。

8つ目のミッション「人や気持ちをつなぐ」では、今年度ベネッセこども基金の助成事業による岡山県内全ての学校へのアンケート調査を実施し、その調査報告会や病気を抱える子どもたちの教育支援を考えるシンポジウムを YouTube ライブ配信によって開催いたしました。アンケート調査票の作成には、有識者のご協力、シンポジウムは340名を超える参加と文部科学省調査官の先生や、成育医療研究センターの理事長の先生からのメッセージなど、当団体にとって過去最大規模の講演会となりました。内容からも課題を感じて頂くことや他地域でも取り組みを進めていきたいなど前向きな回答を得ることができました。病気の子どもたちの置かれている環境の理解が深まったことに加え、当団体のような病気の子どもたちの支援団体の認知、支援の拡充につながっていくと一定の成果を感じています。大学生ボランティアの新規説明会や講習もリモートにより実施し、支援活動の根を絶やさないよう持続的に活動できるよう試みています。

その中でも印象的だった出来事は、入院している子どもたちへの卒業式の中継の実施です。外出や外泊が難しい生徒に対し、子ども本人の思いを学校関係者や医療関係者が汲み取り、私たちへ相談いただいたことにより、技術面や子どもへの心理的サポートなどを行い、県内の中学校と高等学校の2件について中継を行うことができました。

岡山以外の地域でも私たちの活動によって感化されたり、研修会や病院など様々な場で出会った人たちを中心に、病弱児への支援の輪が広がっていく流れも出てきました。全国各地で開催されるオンライン研修会の講師として講演するだけでなく、病弱児支援を担うスタッフの方々とつながり、交流を深めました。

また、病弱教育専門の日本育療学会の学術集会で、大学教員以外では初めてのこととして当団体が基調講演を行わせていただき、病気の子どもたちの支援の輪を地域で広げていく取り組みを中心に話させていただきました。

その他、今年度はハチドリ電力により再生可能な自然エネルギーを利用した電力への切り替えで、電気料金の1%をポケットサポートへ寄付していただけたという、新たな協力体制も生まれました。また、明治ホールディングスの株主の方々からお菓子寄贈や、山陽新聞社様から絵本寄贈、セールスフォース社員のボランティア参加など、様々な企業と協働することができました。



今後は、アンケート調査事業の結果から見えた課題解決に向けた取り組み、コロナ禍でも安心して子どもたちへ学びや安心できる場を提供できる環境づくりに積極的に取り組んでいきたいと思えます。そのために欠かせない様々な機関や人との連携・協働をしながら、支援活動を行っていく所存です。この1年も変わらず、病気による困難を抱える子どもたちを支える支援団体として、認定 NPO 法人ポケットサポートの応援よろしく願いいたします。

代表理事 三好 祐也

2. 2020年度（令和2年度・第6期）事業報告

(1) 病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業名	事業内容	区分	支出	受益対象の人数
		開催日時・場所		復学支援
個別学習支援	自宅療養中や復学初期の子どもに対する学習サポート	自主	1,148,798	小中高校生のべ約30名
		随時・オンライン等		30名
双方向WEB学習支援	ICT機器やWEBを活用した学習支援および学校と医療機関をつなぐ中間コーディネート	助成	1,027,067	小中高校生のべ約100名
		随時・オンライン等		30名
ボランティア育成	学習支援及び相互交流支援を行う人材育成、オンライン支援に必要なPC等の環境整備	助成	2,105,281	大学生のべ約100名
		年4回・オンライン等		30名
ポケサポポイント	慢性疾病を抱える子どもの学ぶ意欲支援事業	助成	699,323	小中高校生のべ約40名
		随時・オンライン等		5名
		小計	4,980,464	

(2) 病弱児同士の交流や集団での学習活動支援事業

事業名	事業内容	区分	支出	受益対象の人数
		開催日時・場所		復学支援
ポケットスペース運営	利用者の環境に応じた相互交流、ピアサポート相談、学習支援を実施	受託	1,946,061	小児慢性特定疾病児童等のべ約150名
		毎週2回・オンライン		30名
体験交流イベント	季節に応じた交流イベントのオンライン開催	自主	744,228	小中高校・若者のべ約60名
		年5回・オンライン		10名
きょうだい・家族ケア	クリスマスプレゼント送付、きょうだいへ知育玩具等のおすそ分けなどを実施	自主	87,320	当事者家族等のべ約30名
		随時・郵送等		5名
		小計	2,777,604	

(3) 病弱児への支援に関する啓発・講演活動及び講師派遣事業

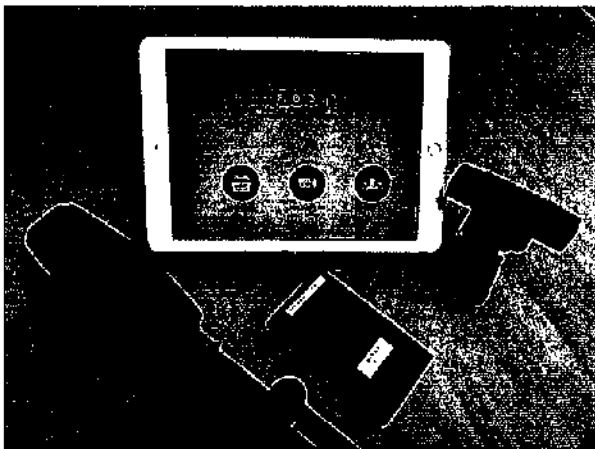
事業名	事業内容	区分	支額	受益者・人数
		開催日時・場所		従事者数
講師派遣事業	大学等に講師を派遣して病弱児支援について 広報、周知活動	謝金	688,196	講演等参加者 約 1,200 名
		年間 9 回・オンライン等		3 名
オンライン支援 シンポジウム	病弱児の教育や療養環境について 当事者家族や医療者とのシンポジウム開催	助成	366,287	地域支援者等 約 180 名
		8 月 2 日・オンライン		5 名
ニーズ調査事業	学校現場における病気を抱える子どもの 支援課題調査と啓発事業	助成	915,718	県内学校 649 校が対象
		8～9 月調査・県内学校		5 名
子どもたちの教育支援を 考えるシンポジウム	アンケート調査報告会及び 病弱教育関係者を交えたシンポジウム開催	助成	549,430	全国の関係者 約 340 名
		2 月 28 日・オンライン		5 名
アウトリーチ拡大事業	電話相談ダイヤル新設、支援解説動画制作 YouTube 動画広告を活用した啓発	助成	312,311	当事者家族等 約 100 名
		随時・オンライン等		5 名
		小計	2,831,942	

事業費計：10,590,010 円

個別学習支援、双方向WEB学習支援



▲支援拠点での個別学習支援風景



▲双方向WEB学習支援用ICT機器

・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により対面支援が全面的に休止となったため訪問は行わず、主に自宅療養中の子どもに対し、テスト勉強や療養中の空白を補う学習支援、受験勉強補助など、それぞれのニーズに合わせた支援をオンラインで実施した。

・岡山市保健所や医療機関スタッフからの紹介や、10月から開始した相談ダイヤルに岡山県外からの問い合わせもあり、さまざまな依頼に対応することができた。

・入院中で卒業式に出席できない子どもに、地元の学校の卒業式を中継することもできた。

・岡山県教育庁特別支援教育課の専門家チームとして、学校と入院中の病室や療養中の自宅をオンラインで結ぶ遠隔授業についての助言や実施の協力を行った。

ボランティア育成(新規ボランティア研修、フォローアップ研修)

■新規ボランティア説明会および初回研修

開催日：2020年12月13日

- ・岡山県内の大学窓口や団体HPよりボランティアを募集
- ・説明会及び初回研修を受講後に活動開始
- ・年間で10名の新規ボランティア登録者(参加14名中)


■フォローアップ研修

- ・各オンライン支援後に振り返り会を実施
- ・別途、交流イベントの企画運営による研修実施

子どもが「重い病氣」になると・・・

- ◆入院・・・自分のいる環境が変わる
- ◆家庭・学校などの日常から切り離される
- ◆生活に制約(ルール)がいっぱい
- ◆治療・検査という、わけのわからない苦痛(心が成長するとも言ったりしますが)何より、治療しなければ自分の命が守られないかもしれない状況

病氣そのもの以外にも
たくさん困ることがあります



▲オンライン開催した新規ボランティア説明会

慢性疾患を抱える子どもの相互交流を支援する「ポケホスペース」

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で休止となっていた支援が、医療機関のスタッフからの要望により、機材など整備し岡山医療センターで7月から、岡山済生会総合病院で9月よりオンラインでの支援を再開した。
- ・Yahoo!基金により整備した iPad を病院へ配布し、同様に J-Coin 基金で整備した PC を学習支援員が使うことでオンラインでの支援が可能となった。
- ・支援拠点、市内 2 か所の小児病棟を結ぶオンライン支援により年間延べ 90 名の子どもや保護者と交流や学習支援を行った。
- ・支援内容は知育ゲームによる交流、長期療養中の学習空白を埋める学習支援、受験勉強や復学に関する相談、進学先での合理的配慮の内容など、同じような長期療養経験のある当事者のピアサポートなど、幅広くおこなった。
- ・学習支援ボランティアなど支援従事者は年間延べ 365 名関わった。
- ・すべての活動がオンライン支援に変更された中でも、活動前の体温チェックや換気、マスクの着用、手指衛生の徹底など、看護師と連携し感染症対策を行い実施した。



岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援業務

体験交流イベント

感染拡大防止としてステイホーム中の子どもや家族も参加できる YouTube 配信や、ZOOM の同時双方向で実施した。企画・運営はスタッフや学習支援ボランティアを中心に行った。

■電子顕微鏡を使ったマイクロ世界クイズ・手話で『パブリカ』を歌おう♪

開催日時：2020年4月25日（YouTube 配信）
YouTube 同時視聴者：約 80 名

■宇宙の星座・惑星クイズ&手話でハピネスを歌おう！

開催日時：2020年5月30日（YouTube 配信）
YouTube 同時視聴者：約 80 名

■紋切りと折り紙を使った七夕飾りを作ろう

開催日時：2020年6月27日（YouTube 配信）
YouTube 同時視聴者：約 100 名

■飛ぶタネの実験工作講座&マジックショー

開催日時：2020年8月29日（YouTube 配信）
YouTube 同時視聴者：約 100 名

■ポケサポオンラインクリスマス会 2020

開催日時：2020年12月20日（zoom）
参加者 22 名



▲クリスマス会（お菓子デコレーション）

きょうだい家族ケア

緊急事態宣言や感染症対策のため、様々な制限がある中で、少しでも現状の子どもたちの笑顔につながる、私たちができることを検討して、入院中の子どもたちや放課後等デイサービスを利用する子どもたち、子どもの居場所づくりをする団体等にお菓子や知育玩具を届ける「笑顔のおすそわけプロジェクト」を実施した。

【協力いただいた団体等】（順不同・敬称略）

- ・NPO 法人杜の家「りゅうそう放課後ラボ」
- ・一般社団法人
子どもソーシャルワークセンターつばさ
- ・岡山済生会総合病院
- ・NPO 法人ふれあいサポートちゃていず
- ・NPO 法人あかね
- ・津山市立林田小学校 院内学級
- ・津山市立津山東中学校 院内学級



▲岡山済生会総合病院に入院する子どもたちにお菓子を届けました

講師派遣事業

2020年度は、年間9回の講演を行った。全体的に新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインの講演開催となり、前年度より人数や回数が減少した。テーマは病気の子どもの教育環境について、代表の三好の自らの闘病経験や、他の地域での病弱児支援の拡がりから講師を頼まれることも多くあった。聴講者は、特別支援学校の教員や、大学生、他県の小児慢性疾病の支援事業に関わる関係者など多岐にわたった。

①4月28日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 9名

②6月11日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 9名

③8月31日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 24名

④9月11日：北九州市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業「学習支援ボランティア研修会」

場所：ウエルとばた 20名

⑤10月25日：日本育療学会 第24回学術集会基調講演「地域が病気の子どもポケットを支えるつながりのかたち」

場所：岡山大学（オンライン開催） 107名

⑥11月24日：ノートルダム清心女子大学
特別支援教育総論 特別講義

場所：学内での録画配信 60名

⑦11月29日：北九州市小児慢性特定疾病児童等
相互交流支援事業「学習支援ボランティア養成ワ
ークショップ」

場所：ウェルとばた 15名

⑧11月30日：岡山大学経済学部大学院 10名

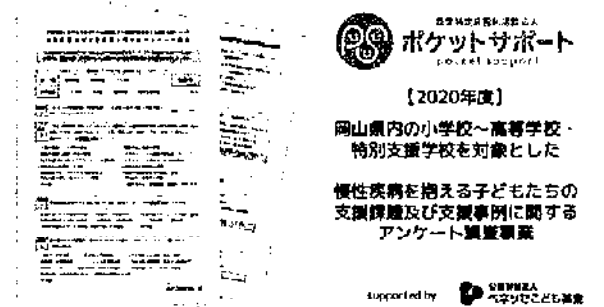
⑨12月13日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティ
ア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 8名

岡山県内の学校現場における支援課題及び事例に関するアンケート調査

- ・アンケート調査票については、大守伊織先生（岡
山大学大学院教育学研究科教授）、森宏樹先生
（就実大学教育心理学科教授）、平賀健太郎先
生（大阪教育大学教育学部准教授）にご助言を
いただき作成した。
- ・岡山県教育委員会特別支援教育課、岡山市保健
福祉局保健所健康づくり課からも報告書にコ
メントをいただき、完成した調査報告書は岡山
県内だけでなく全国の医療機関及び教育委員
会などにも配布した。
- ・アンケート調査結果から復学支援に関する知識
やノウハウが共有されづらい状態にあり、事例
共有や研修の場が必要な事がわかった。
- ・分析を行うことで慢性疾病の子どもたちが学校
へ復学し安心した生活を過ごすために「学習支
援」や様々な関係機関との「連携」「情報の共
有」、先生方が慢性疾病の子どもの担当になっ
た際に相談する「相談先」や「専門的な知識を
学ぶ場」が必要という事が示唆された。



実施期間：2020年8月～9月末

対象：岡山県内の小学校、中学校、高校、
特別支援学校の養護教諭

配布：649校 回答数273（回収率約42%）

入院中でも子どもの学びを支え孤立させないオンライン支援シンポジウム

病気を抱える子どもの家族の立場や、小児科医
師の立場で入院中の子どもの学びをどう支える
か講演後にトークセッションを実施した。

開催日時：2020年8月2日

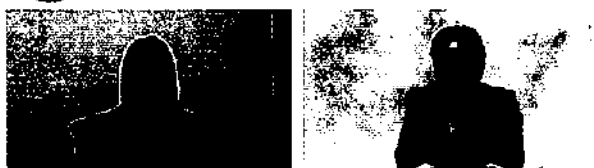
会場：オンライン（YouTubeライブ配信）

YouTube同時視聴者：126名

助成：公益財団法人ベネッセこども基金

入院中でも子どもの学びを支え
孤立させないオンライン支援

YouTube
LIVE配信中



病気を抱える子どもの家族の立場で入院中の学習はなぜ必要か？



学校現場における子どもたちの教育支援を考えるシンポジウム

- ・大阪教育大学の平賀健太郎先生から「病気の子どもたちを取り巻く現状と課題」、京都女子大学の滝川国芳先生からは「病気を抱える子どもの教育を守るために」という題で登壇・講演いただき、各先生方とポケットサポート代表理事の三好祐也とのトークセッションを実施した。
- ・講師に許可をいただきシンポジウム発表スライドと、トークセッションも含めた当日の様子を録画編集したアーカイブ版動画を公開した。
- ・報告会の中では、文部科学省特別支援調査官の深草瑞世先生、国立成育医療研究センターの理事長でベネッセこども基金の理事長でもある五十嵐隆先生からもメッセージを頂いた。

開催日時：2021年2月28日
 会場：オンライン（YouTube ライブ配信）
 YouTube 同時視聴者：346名
 助成：公益財団法人ベネッセこども基金

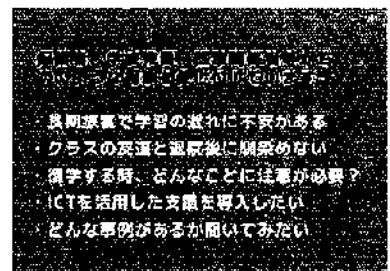


アウトリーチ拡大事業（ポケサボ相談ダイヤル・YouTube 動画広告）

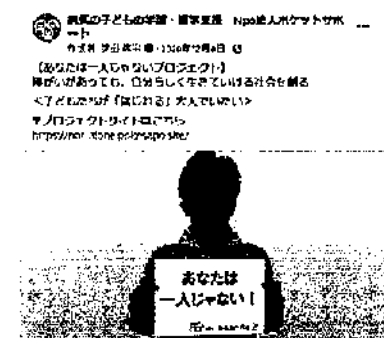
岡山市市民活動支援金により「ポケサボ相談ダイヤル」を開設して、岡山県内の各地から相談の電話を受け付けた。ホームページやブログ等を見た、岡山県外（大阪府や兵庫県など）からも復学や学習支援に関する問い合わせが相次いだ。

また、対面でのイベントや講演会が開催できないため、支援や相談を必要としている保護者等に会うきっかけを増やすため、YouTube 動画広告を期間限定で配信や、様々な分野の支援者に協力いただきメッセージサイトを制作した。

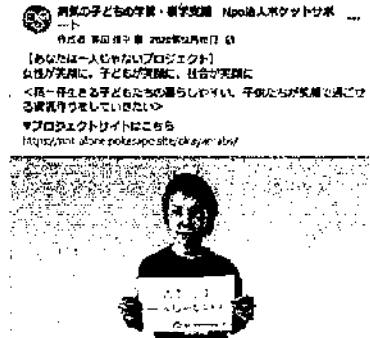
あなたからの
電話が
子どもたちの
生きる力に
つながる。



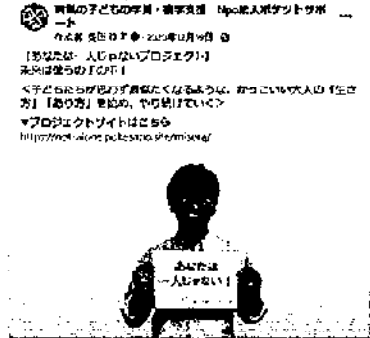
▲ポケサボ相談ダイヤル広報ハガキ



NOT ALONE POKESAPORTE
 障がいがあっても、自分らしく生きていける社会を創る - あなたは一人じゃない！コロナに負けない子どもと家族の...



NOT ALONE POKESAPORTE
 女性が笑顔に、子どもが笑顔に、社会が笑顔に - あなたは一人じゃない！コロナに負けない子どもと家族の支えあい。



NOT ALONE POKESAPORTE
 未来は希望の掌の中！ - あなたは一人じゃない！コロナに負けない子どもと家族の未来あいプロジェクト

経営に関する事項

(1) 総会

通常総会	開催日	2020年6月6日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	社員総数28名のうち17名出席(表決委任状を含む)
	決議事項	・2019年度(令和元年度・第5期)事業報告及び決算報告について

(2) 理事会

第1回	開催日	2020年4月29日(水・祝)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・令和元年度決算報告について ・令和元年度事業報告書について
第2回	開催日	2020年12月12日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・役員報酬規程について
第3回	開催日	2021年3月27日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・役員報酬規程について ・給与規程について ・寄付金受領証明書の印影デジタル化について

(3) 補助金・助成金

補助・助成機関名 (順不同)	内 容	金 額
公益財団法人ベネッセこども基金	学校現場における病気を抱える子どもの支援 課題調査と啓発事業	1,858,000
J-Coin 基金	地域と連携した子どもたちの「生きる力」を 育むオンライン支援環境整備	2,000,000
Yahoo!基金	入院中の子どもたちの「生きる力」を育む オンライン学習環境整備事業	700,000
公益財団法人橋本財団	慢性疾病を抱える子どもの学ぶ意欲支援事業	700,000
公益財団法人福武教育文化振興財団	入院中の子どもが安心して参加できる オンライン支援環境づくり	300,000
赤い羽根共同募金	あなたは一人じゃない！コロナに負けない 子どもと家族の支えあいプロジェクト	200,000
MDRT Foundation-Japan	病気を抱える子どもたちを孤立させない 支援活動 (オンライン DAY キャンプ)	200,000
岡山市市民活動支援金	ポケサボ相談ダイヤル事業	100,000

(4) 受託事業

委託元	内 容	金 額
岡山市	岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援業務	1,800,000

(5) 外部委員会への参加など

委員会等名 (順不同)	委員名
SDGs ネットワークおかやま 副会長	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	奥田 修平
岡山県院内学級連絡協議会	三好 祐也

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 ポケットサポート

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	270,000	
賛助会員受取会費	604,000	874,000
【受取寄付金】		
受取寄付金	3,313,146	
ボランティア受入評価益	392,800	3,705,946
【受取助成金等】		
受取助成金	7,658,000	
受取補助金	300,000	
受取給付金	199,998	8,157,998
【事業収益】		
受託事業収益	1,800,000	
事業収益1	213,010	
事業収益2	81,200	2,094,210
【その他収益】		
受取利息	46	
雑収益	12,957	13,003
経常収益計		14,845,157
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料手当(事業)	2,217,000	
役員報酬(事業)	1,773,829	
臨時雇賃金	167,000	
ボランティア評価費用	332,800	
法定福利費(事業)	419,071	
人件費計	4,909,700	
(その他経費)		
業務委託費	105,600	
諸謝金	141,000	
印刷製本費(事業)	406,730	
図書費(事業)	1,540	
会議費(事業)	21,216	
旅費交通費(事業)	35,020	
通信運搬費(事業)	767,842	
文具費(事業)	7,490	
消耗品費(事業)	3,286,286	
広告宣伝費(事業)	114,510	
水道光熱費(事業)	36,000	
地代家賃(事業)	477,000	
賃借料(事業)	182,886	
保険料(事業)	25,564	
研修費	4,000	
支払手数料(事業)	67,626	
その他経費計	5,680,310	
事業費計		10,590,010

活 動 計 算 書

〔税込〕(単位：円)

特定非営利活動法人 ポケットサポート

自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日

【管理費】			
(人件費)			
役員 報酬	446,171		
給料 手当	426,177		
法定福利費	108,850		
ボラ評価損	60,000		
人件費計	1,041,198		
(その他経費)			
業務委託費	40,860		
印刷製本費	81,160		
会 議 費	5,756		
図 書 費	2,750		
通信運搬費	160,150		
消耗品 費	156,793		
文 具 費	2,040		
地代 家賃	123,000		
広告宣伝費	12,265		
諸 会 費	3,000		
租 税 公課	800		
支払手数料	102,598		
雑 費	5,378		
その他経費計	696,550		
管理費 計		1,737,748	
経常費用 計			12,327,758
当期経常増減額			2,517,399
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			2,517,399
当期正味財産増減額			2,517,399
前期繰越正味財産額			1,951,908
次期繰越正味財産額			4,469,307

貸借対照表

特定非営利活動法人 ポケットサポート
全事業所

[税込] (単位: 円)
2021年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	96,903		
商品券	22,000		
郵便振替	1,557,143		
普通預金	5,306,404		
現金・預金計	6,982,450		
(売上債権)			
未収金	10,000		
売上債権計	10,000		
(その他流動資産)			
立替金	6,910		
その他流動資産計	6,910		
流動資産合計		6,999,360	
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
保証金	180,000		
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		180,000	
資産合計			7,179,360
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	591,994		
前受金	2,020,000		
預り金	98,059		
流動負債合計		2,710,053	
負債合計			2,710,053
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		1,951,908	
当期正味財産増減額		2,517,399	
正味財産合計			4,469,307
負債及び正味財産合計			7,179,360

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によつてい
ます。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によつています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	学習復学支援	交流活動	講演活動	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0	0	0	0	874,000	874,000
2. 受取寄付金	357,410	515,766	87,859	961,035	2,744,911	3,705,946
3. 受取助成金等	3,700,000	0	2,158,000	5,858,000	2,299,998	8,157,998
4. 事業収益	81,200	1,800,000	213,010	2,094,210	0	2,094,210
5. その他収益	956	0	0	956	12,047	13,003
経常収益計	4,199,566	2,315,766	2,458,869	8,914,201	5,930,956	14,845,157
II 経常費用						
(1) 人件費						
給与 手当	753,000	871,000	593,000	2,217,000	426,177	2,643,177
役員 報酬	709,335	704,720	359,774	1,773,829	446,171	2,220,000
臨時雇賃金	31,500	72,500	83,000	167,000	0	167,000
ボランティア謝儀費用	157,415	87,826	87,859	332,800	60,000	392,800
法定福利費	198,220	110,216	110,635	419,071	108,850	527,921
人件費計	1,849,470	1,845,962	1,214,268	4,909,700	1,041,198	5,950,898
(2) その他経費						
業務委託費	0	105,600	0	105,600	40,860	146,460
諸 謝 金	0	17,000	124,000	141,000	0	141,000
印刷製本費	35,500	44,740	326,490	406,730	81,160	487,890
図 書 費	0	1,540	0	1,540	2,750	4,290
会 議 費	0	12,731	8,485	21,216	5,756	26,972
旅費交通費	6,920	27,600	500	35,020	0	35,020
通信運搬費	65,818	122,521	579,503	767,842	160,150	927,992
文 具 費	2,744	3,264	1,482	7,490	2,040	9,530
消耗品 費	2,863,578	368,472	254,238	3,286,288	156,793	3,443,079
広告宣伝費	0	0	114,510	114,510	12,265	126,775
水道光熱費	0	36,000	0	36,000	0	36,000
地代 家賃	225,621	125,451	125,928	477,000	123,000	600,000
賃 借 料	76,956	45,210	60,720	182,886	0	182,886
保 険 料	25,564	0	0	25,564	0	25,564
諸 会 費	0	0	0	0	3,000	3,000
租税 公課	0	0	0	0	800	800
研 修 費	0	0	4,000	4,000	0	4,000
支払手数料	28,293	21,513	17,820	67,626	102,598	170,224
雑 費	0	0	0	0	5,378	5,378
その他経費計	3,130,994	931,642	1,817,674	5,680,310	696,550	6,376,860
事業費計	4,980,464	2,777,604	2,831,942	10,590,010	1,737,748	12,327,758
当期経常増減額	△ 840,898	△ 461,838	△ 373,073	△ 1,675,809	4,193,208	2,517,399

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

[税込] (単位:円)

内容	金額	算定方法
交流支援ボランティア	332,800	時給1,600円×年間のべ208時間
経理事務ボランティア	60,000	時給1,000円×5時間×12回
合 計	392,800	

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
ベネッセ子ども基金 2019	1,858,000	0	1,858,000	0	教育現場アンケート調査助成金 事業期間: R2年4~3月
ベネッセ子ども基金 2020	0	1,800,000	0	1,800,000	ドリー型ロボット開発等助成金 事業期間: R3年4~3月
MUKI助成金 2021	0	200,000	0	200,000	オンラインDAYキャンプ助成金 事業期間: R3年4~9月
合 計	1,858,000	2,000,000	1,858,000	2,000,000	

財 産 目 録

特定非営利活動法人 ポケットサポート
全事業所

[税込] (単位: 円)
2021年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	96,903		
商品券	22,000		
郵便振替	1,557,143		
普通預金	5,306,404		
中国銀行	(2,607,574)		
ろうきん	(2,898,830)		
現金・預金計	6,982,450		
(売上債権)			
未収金	10,000		
売上債権計	10,000		
(その他流動資産)			
立替金	6,910		
その他流動資産計	6,910		
流動資産合計		6,999,360	
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
保証金	180,000		
投資その他の資産計	180,000		
固定資産合計		180,000	
資産合計			7,179,360
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	591,994		
前受金	2,020,000		
預り金	98,059		
社会保険	(51,264)		
雇用保険	(6,690)		
源泉所得税	(19,105)		
住民税	(21,000)		
流動負債合計		2,710,053	
負債合計			2,710,053
正味財産			4,469,307

前事業年度の年間役員名簿

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	代表理事	三好 祐也		R2年4月1日 ~R3年3月31日	R2年4月1日~ R3年3月31日
2	理事	松本 圭子		R2年4月1日 ~R3年3月31日	報酬無し
3	理事	山口 そのえ		R2年4月1日 ~R3年3月31日	報酬無し
4	監事	森高 寛行		R2年4月1日 ~R3年3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。